

第11回 中央区自治協議会 会議概要（速報含む）

開催日時	平成29年2月24日（金曜）午後3時00分から午後4時25分まで
会場	市役所本館 6階 講堂
出席者	<p>委員</p> <p>藤田委員, 清水委員, 田村(幸)委員, 外内委員, 浅野委員, 高橋委員, 加藤委員, 渡部委員, 中村委員, 本間(之)委員, 青木委員, 廣瀬委員, 川崎委員, 伊藤委員, 竹田委員, 大堀委員, 関谷委員, 三條委員, 菊地委員, 佐藤委員, 水品委員, 豊嶋委員, 津吉委員, 津田委員, 長谷川委員, 本間(伸)委員, 南雲委員, 杉原委員, 李委員, 小島委員, 井上委員, 岩田委員, 田村(勝)委員, 肥田野委員 出席 34名 欠席 4名(志賀委員, 本間(健)委員, 渡辺委員, 大坂委員)</p> <p>事務局</p> <p>【新潟市教育委員会】教育総務課長 【中央区役所】区長, 副区長, 区民生活課長, 健康福祉課長, 保護課長, 建設課長, 東出張所長, 南出張所長, 地域課長, 地域課長補佐</p>
議事	<p>1 開会</p> <p>○会議の成立について 委員 38名中 34名出席のため, 規定により会議は成立</p> <p>2 議事（議長＝豊嶋会長）</p> <p>（1）中央区自治協議会 委員の改選について（資料 議1）</p> <p>○区自治協議会委員推薦会議座長の田村（勝）委員より, 第6期中央区自治協議会委員の推薦名簿（案）について説明がありました。1号委員では新任9名, 再任8名, 再々任6名, 男女別では, 男性20名, 女性3名の計23名。2号委員では第5期より総員を3名増やし, 新任6名, 再任3名, 男女別では, 男性4名, 女性5名の計9名。3号委員では, 全員新任で女性の計3名。4号委員は, 応募者4名のうち, 得点上位者2名を選出しました。全員男性で再任の計2名, 5号委員では第5期より総員を1名減らし, 新任の女性が1名という構成内訳の説明がありました。</p> <p>3号委員について, 11月の全体会議で新潟大学からの委員選出としていましたが, 選出要件を満たす適任者が不在であるため, 現在, 新潟市の教育相談センターの訪問教育相談員として主に活動し, 併せて姫路大学教育学部非常勤講師を務めている大滝様を推薦する旨説明がありました。</p> <p>○第6期中央区自治協議会委員推薦名簿（案）について, 承認されました。</p> <p>（2）中央区自治協議会 部会編制について（資料 議2）</p>

○豊嶋議長より、前回の自治協議会で示した次期部会編制の見直し案に対する各委員からの意見概要について、説明がありました。部会名や担当する分野、関係課といった部分に対して出された意見について、総務運営会議で検討した旨説明があり、見直し案に対する修正案が示されました。

「地域活性化部会」、「福祉・安心安全部会」、「地域と学校部会」、「水辺とみなと部会」の4部会編制とし、中央区の関係課と連携して運営し、必要に応じて本庁の所管課に部会に出席してもらう旨説明がありました。

○次期部会編制案について承認されました。

- ・「地域と学校部会」について、自治協議会で地域と学校について討議されたことがほとんどなかったため、来期からは発展して取り組み、学校にもかかわってもらいたい旨意見がありました。
- ・自治協議会だよりの観点から、部会名の混同が無いようにしてもらいたい旨意見がありました。
- ・3部会編制から4部会編制へ移行するにあたり、自治協提案事業500万円は増額になるのかという質問があり、現状では予算総額は変わらず、次期委員による4部会で運用など検討してもらう旨回答がありました。

(3) 平成28年度 中央区自治協議会提案事業について (資料 議3)

○「拠点と賑わいのまち部会」浅野座長より、平成28年度自治協議会提案事業の実施報告書について説明があり、承認されました。

- ・報告書中25ページ、下から2行目、「新潟島に約36万人」の表記について「新潟市に約36万人」とする修正指示がありました。

3 報告

(1) 市立幼稚園再編の方針案に対するパブリックコメントの実施について

(資料 報1)

○担当課より、市内11ある市立幼稚園の今後の方針案について、パブリックコメントを実施している旨説明がありました。

頂いた意見について教育委員会として取りまとめ、成案とした後、平成29年度に地域、幼稚園、保護者の方々に説明し、その後、具体的な実施の計画に移っていきたいと考えている旨説明がありました。

- ・資料中、平成27年度の市立幼稚園の園児数について質問があり、平成27年度は735人、平成28年度は724人であるとの訂正説明がありました。

(2) 部会からの報告について (資料 報2-1 2-2 2-3 2-4)

○「拠点と賑わいのまち部会」浅野座長、「人にやさしい暮らしのまち部会」田村(勝)座長、「水辺とみなとのまち部会」藤田座長、「中央区自治協議会

だより編集部会」井上座長より、部会等の開催概要及び検討内容について報告がありました。

- ・「人にやさしい暮らしのまち部会」で「災害時要援護者名簿」の自治会、町内会あて配布部数について質問があり、1部は会長あて、そのほかは副会長もしくは防災担当部長あてである旨委員より説明がありました。
- ・同じく、マニュアル等の配布状況について質問があり、現在「人にやさしい暮らしのまち部会」にて作成している報告書は、年度末に512の全自治会、町内会へ配布する予定であり、市の「災害時要援護者避難支援マニュアル」については、改定後のものを秋ごろを目途に配布する予定である旨回答がありました。

(3) 委員からの報告について

①平成28年度 第4回 中央区支え合いのしくみづくり会議（資料 報3-1）

○豊嶋委員より、平成29年2月9日に開催された「中央区支え合いのしくみづくり会議」について報告がありました。

②水と土の芸術祭2018実行委員会（資料 報3-2）

○肥田野委員より、平成29年1月26日に開催された「水と土の芸術祭2018実行委員会」について報告がありました。

- ・新聞報道等にて次回で終了と出されている水と土の芸術祭について、東京オリンピックもあることから一過性にならないようにという委員説明に対して質問があり、文化遺産という点で後世に引き継げるものは後世に引き継いでいくという意味での一過性にならないようにという趣旨説明がありました。

4 その他（資料 他1）

○長谷川委員より、11月の自治協議会で説明のあった「ゴミ屋敷支援を考える」地域福祉ネットワーク会議の開催報告がありました。

- ・長谷川委員の説明に対し、地域包括支援センターについて、機能強化職員が配置されていることから、介護保険サービスの枠組みだけでなく、もう少し踏み込んだ地域支援の担い手として役割を発揮してもらいたいとの説明と併せて、図示の見解について質問があり、資料については、当日の会議で出された意見の範囲である旨回答がありました。
- ・避難所における災害備蓄品の数量について質問があり、次回自治協議会にて回答する旨説明がありました。

5 閉会

傍聴者	4名
報道機関	1社